

紅地菊枝桐亀甲文唐織小袖



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 国指定重要文化財(工芸品) |
| 読みかた | べにじきくえだきりきっこうもんからおりこそで |
| 所在地 | 岡山市北区丸の内 林原美術館 |
| 指定年月日 | 昭和52年6月11日 |
| 解説 | 身丈約144.5cm。池田輝政の室系子夫人の所用と伝える桃山時代の代表的な唐織小袖。後に能装束に転用したものである。紺・白・紅などの絵緯(えぬき)で、菊枝・亀甲花菱・桐紋などを全面に織り出した華やかなものである。 |
| アクセス方法 | JR岡山駅から徒歩25分／バス「県庁前」下車徒歩3分／路面電車「県庁通」下車徒歩7分 |
| 公開状況 | 林原美術館所蔵 |
| 設備 | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  トイレ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  障害者用駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  障害者用トイレ </div> </div> |
| 備考 | ※絵緯(えぬき):織物の文様を表すため、緯(よこ)糸として用いる色系や金銀糸。 |